

# 株 主 通 信

第 1 1 3 期 中 間 期

2024年4月1日—2024年9月30日

小松マテール株式会社

証券コード 3580





## トップメッセージ

能登半島地震に続き、能登豪雨の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、昨年に創立80年を迎えた当社は、次なる飛躍に向けて新たな中期経営計画をスタートしました。今後は「品質保証」、「地球環境配慮」、「安全」の3つを経営の重点テーマとして、社会とお客様にさらに貢献してまいります。株主の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2024年11月

代表取締役社長



当上半期の売上は、国内で資材分野が伸び悩んだものの、衣料分野で原燃料の高騰などに伴う価格の改定交渉を進めるとともに、販売品種の転換を図りました。また、欧米・中東・アジアなど海外においても販売の強化に努め、当初の計画値を上回ることとなりました。

なかでも高度な染色・後加工技術によって合成繊維にシワ感やリラックス感のある自然な風合いを出す当社独自の「SY加工<sup>®</sup>」製品が、北米をはじめ国内外で売上を伸ばしました。この需要の伸びに対応すべく、新たな設備投資を行い、生産および販売体制の拡大に努めました。

一方、7月にはイタリア・ミラノで開催された世界最高峰の生地

の展示「ミラノ・ウニカ」に出展しました。個性豊かな製品サンプルとともに、必要な分だけを「製品染め」する環境配慮型の加工技術が注目を集めました。

なお、冒頭でも述べたとおり、当社グループは、5月に3カ年からなる中期経営計画「KFW-2026」を公表しました。本計画では、“技術と感性で人々と社会をより豊かに”をスローガンに、①海外事業の拡大 ②小松マテーレ式サステナブル商材・事業の推進 ③製品事業の推進 ④人材育成の強化とエンゲージメントの向上 ⑤製造環境の整備、福利厚生面の充実を掲げ、事業拡大や基盤強化を通じて、やがて迎える100周年への飛躍につなげてまいります。

その一歩として、当社は9月に東京営業所をファッショントレンドの中心地でもある東京・青山へ移転しました。近隣には昨年開設した「青山ショールーム」もあり、2つの拠点の連携により、お客様に寄り添った高機能・高感性素材の企画・開発を進め、販路のさらなる開拓に挑みます。

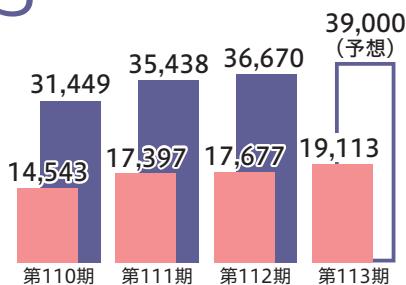
昨年、当社は創立80年を迎えました。この間、磨き上げた繊維加工技術と関連技術を社会とお客様にお届けすべく、衣料分野から生活・産業資材分野、さらには環境課題解決や社会インフラの強靱化など時代が求める分野に貢献を広げ、株主様のご期待に応えられる高収益企業を目指します。引き続き皆様の変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

## ■ 売上高

19,113百万円 (単位：百万円)

前年同期比

+8.1%

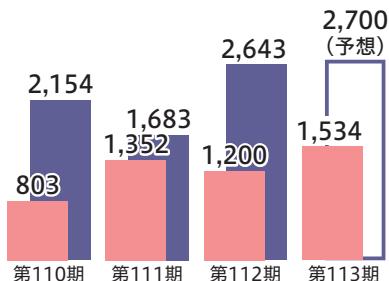


## ■ 経常利益

1,534百万円 (単位：百万円)

前年同期比

+27.7%

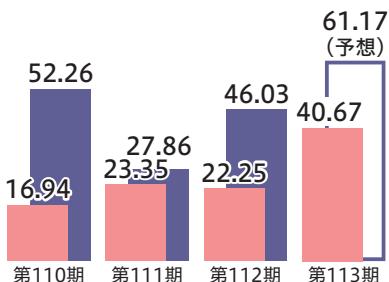


## ■ 1株当たり中間 (当期) 純利益

40.67円 (単位：円)

前年同期比

+18.42円

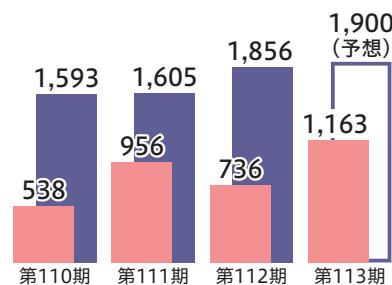


## ■ 営業利益

1,163百万円 (単位：百万円)

前年同期比

+57.9%

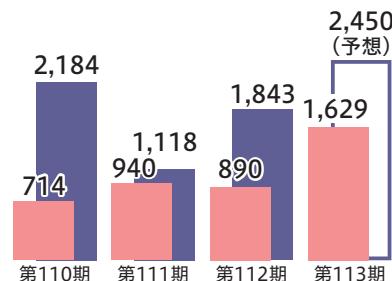


## ■ 親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益

1,629百万円 (単位：百万円)

前年同期比

+83.0%

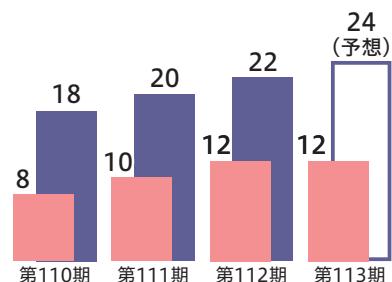


## ■ 1株当たり配当金

12.0円 (単位：円)

前年同期比

±0.0円



## 衣料ファブリック部門

売上高

14,003百万円 前年同期比 11.3%増

衣料ファブリック部門については、市場の要求に応えられる付加価値の高い高感性・高機能素材や、環境配慮型商品を国内外の市場に積極的に訴求し、拡大を進めてまいりました。当中間連結会計期間では、主に北米ファッション、中東民族衣装が海外向けの売上を牽引しました。加えて、スポーツ分野が需要低迷したものの、国内向けファッションが総じて増加したことから、当部門全体としては増収となりました。

### イタリア「ミラノ・ウニカ展」に出展

世界的なテキスタイル見本市「第37回 ミラノ・ウニカ (MILANO UNICA)」のThe japan observatory ブースにおいて、当社単独では初の出展をいたしました。

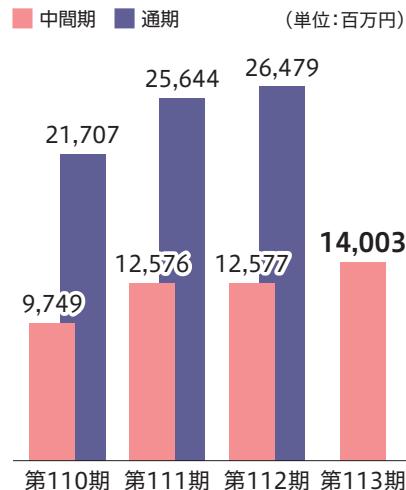
今回の出展では製品染めに力を入れた展示を行い、当社は製品染めに適したさらし生地（染色していない生地）をアピールいたしました。必要な分だけ生産することができる製品染めは、環境配慮の観点から市場のニーズが高まっています。様々なバリエーションを展示しましたが、風合いの変化や機能性の付与といった、当社の高次後加工技術を組み合わせたものが特にお客様より高評価をいただきました。

会場ではサステナビリティやトレーサビリティに関する質問が多く飛び交い、世界的な関心の高まりと、それらに対応するブース設置の必要性を実感いたしました。また、製品染めを得意とするイタリア企業のティントリア・エミリアーナ (Tintoria Emiliana) 社とのコラボレーションPOPIに惹かれて来場されるお客様もいっしょり、高い注目を集める同社との

協業を拡大する機会ともなりました。



beautiful peopleのバッグに採用



### 採用事例



DESCENTE PRO, Schematech AEROに採用



近畿大学水産研究所のユニフォーム(ハーリーハンセン)を開発中

## 資材ファブリック部門

売上高

4,030百万円 前年同期比 1.3%減

資材ファブリック部門については、車輛分野や生活関連資材分野で受注が増加したものの、リビング分野において不採算事業からの撤退もあり、部門全体として減収となりました。

### 汚泥廃棄物を削減する「ベリフォーマー<sup>®</sup>」が、いしかわエコデザイン賞で大賞を受賞

排水処理場から排出される大量の汚泥廃棄物を最大100%削減するバイオ製剤「ベリフォーマー<sup>®</sup>」が、石川県が開催した



馳知事（中央）より表彰を受けた佐々木代表取締役会長（右）と奥谷新規事業開発部長（左）

フォーマー<sup>®</sup>」が、石川県が開催したエコデザイン賞2024で大賞を受賞しました。バイオ製剤の配合と運転管理技術の組み合わせで、どのような排水でも最大の効果が得られます。汚泥の排出・運搬・焼却・埋め立てに要するCO<sub>2</sub>排出量をゼロにするなど、環境負荷低減の効果が期待できます。



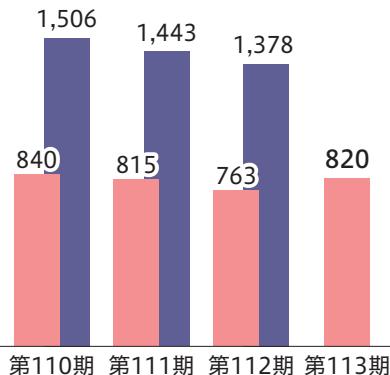
## 製品部門

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)

売上高

820百万円

前年同期比  
7.5%増



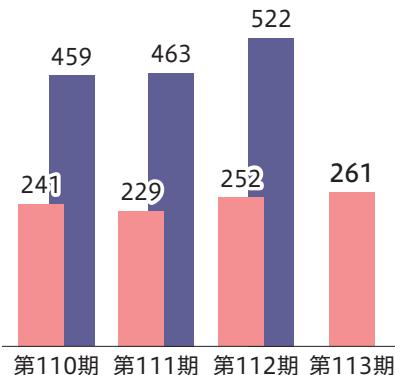
## その他の事業

■ 中間期 ■ 通期 (単位:百万円)

売上高

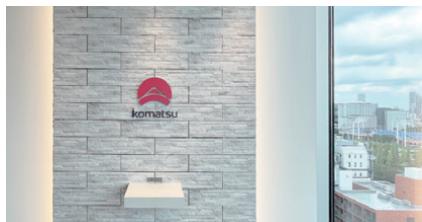
261百万円

前年同期比  
3.6%増



## 東京営業所を青山一丁目に移転

— 青山ショールームと連携し、“驚きと感動”を発信 —



2024年9月、東京営業所を銀座から青山一丁目に移転いたしました。東京メトロなどの青山一丁目駅から徒歩2分の「ポーラ青山ビルディング」12階が新オフィスとなり、移転前に比べ床面積を2倍以上に拡大。電車で2駅という距離にある、当社の旗艦ショールーム「青山ショールーム」と連携しやすい位置に営業所を構えることで、より高付加価値なサービスの提供、提案力・情報発信力の強化を図ってまいります。

### “驚きと感動の創造”を体現するオフィス環境

新しい営業拠点のコンセプトは「来たくなるオフィス」。エレベーターを降りると目の前に広がる景観のすばらしさに驚き、エントランスを通り抜けて入る会議室の内装に高揚し、当社の提案にさらに感動していただく——当社が掲げるスローガン「驚きと感動を創造する」をオフィス環境にも落とし込み、お客様をお迎えします。



### 新たな価値を生み出すための工夫を随所に採用



新オフィスでは、社員の固定席をつくらないフリーアドレスを採用しました。席が毎日ランダムに指定されるシステムとすることで、部署の垣根を越えた社員同士のコミュニケーションを活性化し、新たなビジネスのアイデアが生まれやすい環境とすることが狙いです。

また、カウンター席、ボックス席、テーブル席などのさまざまな席や、座り心地の異なる椅子も用意し、その日の気分に合わせて集中して業務に取り組める環境を実現。生産性の向上についても目標としています。

### 環境に配慮したビルを移転先に選定

移転先に選定した「ポーラ青山ビルディング」は、「CASBEE評価認証」の「建築（新築）」および「スマートウェルネスオフィス」の2部門で最高位の評価Sランクを取得。また「建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）」の4つ星を取得しています。環境負荷に配慮した建築設計、再生可能エネルギーによる電力供給を採用するなど、持続可能性の実現に向けたファシリティを備えている点に共感し、次世代を見据えた新たな拠点の移転先としました。



小松マテールグループは独自の加工技術や先端素材で地球・社会の課題解決に貢献します

だれもが安心して暮らせる社会を目指し、小松マテールグループは5つの行動目標からなる「小松マテール・サステナビリティ・ビジョン」を掲げ、様々な活動や製品開発に取り組んでいます。今回は「II 循環型社会づくりへの貢献」に貢献する環境共生商品「グリーンビズ・グラウンド瓦」を紹介します。

## 小松マテール・サステナビリティ・ビジョン



I 気候変動対策



II 循環型社会づくりへの貢献



III 人々の感動の創造



IV 防災・減災への取り組み



V 地域貢献と社員の成長



紹介動画

## 能登半島地震で発生した災害廃棄物の瓦を 保水性と透水性を持つ機能性舗装材として活用

令和6年能登半島地震では瓦ぶきの家屋が数多く倒壊し、大量の廃瓦が発生しました。8月に石川県が公表した「公費解体加速化プラン」によれば、廃瓦を含む不燃廃棄物は110万トンにも及ぶと推定され、大部分は埋め立て処分する計画です。ただしこの廃瓦については有効活用の検討が進められてきました。

当社ではこの廃瓦を有効な資源と捉え直し、環境共生商品「グリーンビズ」で培った技術を活用して、製品開発に着手しました。

「グリーンビズ」は、多孔質発泡セラミックスで、“保水性と透水性”を有する製品です。瓦も同じセラミックス素材(窯業製品)のため吸水性は持っているものの、瓦は製造年代や生産地域によって吸水性にばらつきが見られます。そこでこの吸水性のばらつきを「グリーンビズ」の高い保水性能で補うことで、「グリーンビズ」同様の“保水性と透水性”を持つ製品化に成功しました。



グリーンビズ (奥)  
と瓦チップ (手前)



グリーンビズ・グラウンド瓦

### □ 災害復興に貢献する「石川県エコ・リサイクル製品」に認定！

当社では、この新素材を『グリーンビズ・グラウンド瓦』と称し、豪雨対策や環境対策を考慮した機能性舗装材として新展開する計画です。新製品は2024年10月10日に「石川県エコ・リサイクル製品」に認定されました。本製品の積極的な活用により、今後は能登の復興計画や整備工事の一助として、被災地の復興に役立てたいと考えています。

# 株式情報

発行済株式総数	株主数
43,140,999株	6,868名

## 所有者別分布状況

個人その他 8,141千株 (18.87%)	金融機関 12,976千株 (30.08%)	その他の法人 11,509千株 (26.68%)	外国法人 7,184千株 (16.65%)
	証券会社 455千株(1.06%)	自己株式 2,872千株(6.66%)	

## 大株主（上位10名） 2024年9月30日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東レ株式会社	3,749	9.31
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.	3,478	8.63
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,461	8.59
株式会社北國銀行	2,001	4.97
小松マテーレ松栄会	1,780	4.42
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL OMNIBUS SECS LENDING ACCOUNT	1,357	3.37
日本生命保険相互会社	1,284	3.18
三井住友信託銀行株式会社	1,230	3.05
株式会社北陸銀行	963	2.39
三谷産業株式会社	892	2.21

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先  
0120-782-031  
照会先URL  
<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>  
1単元の株式の数  
100株

公告の方法  
電子公告(当社ウェブサイトに掲載)  
<https://www.komatsumatere.co.jp/ir/investor/>  
※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所  
東京証券取引所 プライム市場

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

# 会社情報

## 役員 2024年9月30日現在

代表取締役会長	佐々木久衛
代表取締役社長	中山 大輔
常務取締役	米谷 俊泰
常務取締役	小川 直人
取締役	松尾 千洋
社外取締役	大西 洋
社外取締役	山下 修二
社外取締役	堀内 節郎
社外取締役	西村 友伸
監査役	米澤 和洋
社外監査役	坂下 清司
社外監査役	横越 亜紀

## 会社の概況

商号	小松マテーレ株式会社
設立年月日	1943年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町又167番地
本社製造部	石川県能美市浜町又167番地
美川製造部	石川県白山市鹿島町1号7番地1
大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービスENTオフィスタワー8階-9階
東京営業所	東京都港区南青山二丁目5番17号 ポララ青山ビルディング12階
北陸営業所	石川県能美市浜町又167番地 小松マテーレ株式会社 本社2階

## グループ会社

小松美特料(蘇州)貿易有限公司	中国・江蘇省蘇州市
株式会社コマクソン	石川県能美市
株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
インターリンク金沢株式会社	石川県金沢市
吉田産業株式会社	福井県鯖江市

### 【表紙の写真】

今秋、銀座から青山一丁目に移転となった東京営業所。エントランスホールからの国立競技場や神宮球場に視線を預けることで、清々しい気持ちで一日をスタートすることができます。事務所内は会議室以外に壁がなく、フリーアドレスになっているため、社員の活発なコミュニケーションが生まれやすい空間となっております。計14m程のディスプレイシェルフからは、当社の事業領域の広さを体感いただけます。社内だけでなく社外の方にも「来たくなるオフィス」となっております。

## 小松マテーレ株式会社

<https://www.komatsumatere.co.jp/>

